

自立と共生 社会

働くとは生きること、 協同で拓く沖縄の未来

日時 2022年4月17日(日)

13:00~17:00 (開場12:30)

会場 沖縄県総合福祉センター

ゆいホール (那覇市首里石嶺4丁目)

参加料 無料 (資料代500円)

申込締切
定員

4月13日まで
170名の定員

記念講演



沖縄国際大学教授
前泊 博盛氏

実践報告・リレートーク

ゆいまーる(協同労働)で
地域の困ったを解決する。



報告者

高里 鈴代氏
基地・軍隊を許さない
行動する女たちの会
共同代表

報告者

糸数 未希氏
NPO法人にじのはし
ファンド代表

報告者

竹森 鉄氏
ワーカーズセンター事業
団 九州事業本部長

対談

復帰50年、自立した
沖縄の経済と暮らし
一働き方で社会を変える一



前泊 博盛氏
沖縄国際大学 教授



永戸 祐三氏
日本労働者協同組合連
合会 名管理事

主催 (一社)日本社会連帯機構 沖縄県本部

日本労働者組合(ワーカーズコープ)センター事業団

お問い合わせ・お申込み

ワーカーズコープおきなわ 事務局

TEL 098-987-6966

e-mail: oknwb@roukyou.gr.jp



開催趣旨

今年 5 月 15 日は、沖縄が日本に復帰して 50 年の節目を迎えます。

振り返ると、戦後沖縄は 27 年もの米軍統治下に置かれ、住民自治や人権などが大きく抑圧されていました。当時の沖縄住民にとっては、国民主権、基本的人権、平和主義の日本国憲法の下に復帰するのが願いでしたが、「基地なし、本土並み」の願いとは裏腹に、新たに自衛隊の配置と多くの米軍基地は残されたままとなっています。また、現在の沖縄の暮らしも本土並みとは言えず、県民所得は全国最下位で非正規雇用率や子どもの相対的貧困率なども全国ワーストの水準で県民の暮らしは深刻な状況のままです。

それでも、少子高齢化とはいえ人口も増え続け、自然や歴史と文化などは沖縄独自の潜在的な力があります。なによりも沖縄の先人たちが「命どう宝」を大切に「ゆいまーるの精神」で共に助け合ってきたことが、今の沖縄の心を支えています。

この度、「自立と共生社会」～働くことは生きること、協同で拓く沖縄の未来～をテーマに、「おきなわ協同集会in那覇」を開催することとなりました。心豊かな共生社会を共に考え実践するさまざまな人々が集う会といたします。多くのご参加をお願い申し上げます。

■日本復帰 50 年企画「おきなわ協同集会 in那覇」

会場：沖縄県総合福祉センター・ゆいホール（那覇市首里石嶺 4 丁目）

日時：2022 年 4 月 17 日（日）13:00～17:00 参加費：無料（資料代 500 円）

内容：1 部、全体集会 13:00～14:30（ゆいホール 170 名）

記念講演：前泊博盛氏（沖縄国際大学）

対談：前泊博盛氏（沖縄国際大学）×永戸祐三氏（日本社会連帯機構）

「復帰 50 年、自立した沖縄の経済と暮らし・働き方」

～協同労働で沖縄社会を変える～

2 部、協同労働と労働者協同組合を知る 14:40～16:50

・「沖縄のゆいまーる（協同労働）」高里鈴代さん

・「子どもたちの未来のために」糸数未希さん

・「協同労働・労働者協同組合ってなに？」竹森 鉄さん

・リレートーク「地域から湧きあがる協同労働」

狩俣地区(宮古島)、屋部(名護)、KANASA(那覇)他

・グループワークショップ 15:00～16:30

テーマ「描こう、私たちのまちづくりと仕事づくり」 以上

FAX（098-987-6967）でのお申込み

*お名前	*住所
*電話番号	*メール
*参加方法	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> zoom 参加

お問合せ ☎098-987-6966

（ワーカーズコープおきなわ）

QR コードからのお申込み⇒

